

平成24年度当初予算と主な事業

「未来を見据え 持続可能な住みよいまち」を目指して

平成24年度がスタートしました。今月の特集では、3月に行われた町議会で決まりました新年度予算についての概要と主な事業をお知らせします。

平成24年度の予算編成にあたりましては、東日本大震災や歴史的な円高の影響により税収の回復は見込めない厳しい状況の中、「安全を第一に、安心な暮らしを守るために」に重点を置き予算編成をしました。また、災害対策を最優先に、住民サービスの維持・向上と町政の健全性の両面のバランスを取り、「未来を見据え持続可能な住みよいまち」の実現を目指しました。当面、新規の箱物には着手せず、身近な事業を重視し、休日保育を実施するなど子育て支援の充実や障害者支援などの生活に密着した事業に配慮した予算となっています。

平成24年度 当初予算

● 一般会計

予算総額

132億1,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県から

の支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

● 特別会計

予算総額（7特別会計）

61億9,705万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

● 企業会計

収益的支出

6億7,296万円

資本的支出

2億9,824万円

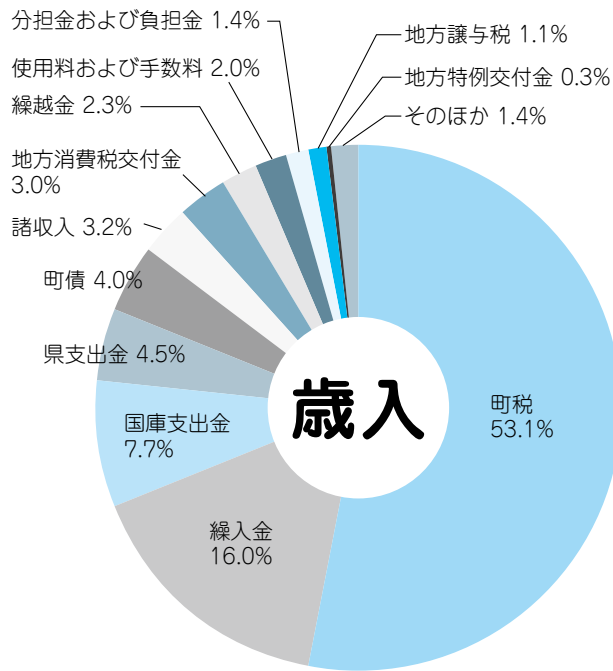
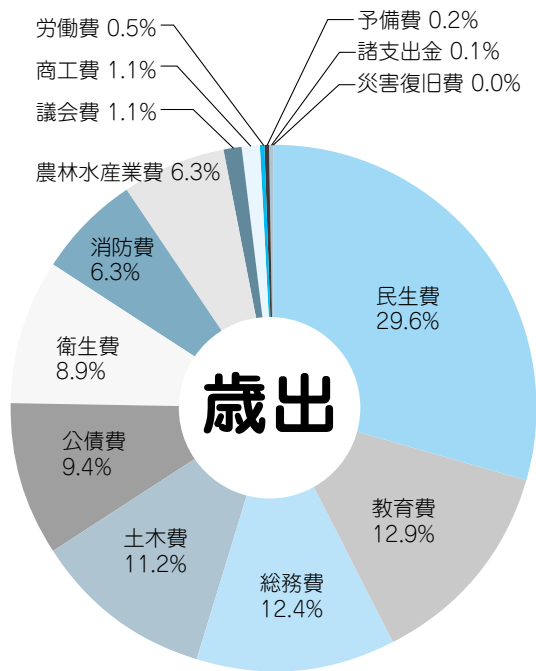
企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

(▲減)

会計区分	平成24年度予算	平成23年度予算	伸び率(%)
一般会計	132億1,000万円	154億2,000万円	▲14.3
特別会計			
土地取得特別会計	5,276万円	9,075万円	▲41.9
国民健康保険特別会計	30億271万円	30億3,202万円	▲1.0
後期高齢者医療特別会計	2億7,898万円	2億4,747万円	12.7
介護保険特別会計	13億5,050万円	13億9,706万円	▲3.3
幸田駅前土地区画整理事業特別会計	5億2,768万円	5億4,927万円	▲3.9
農業集落排水事業特別会計	3億7,030万円	3億4,386万円	7.7
下水道事業特別会計	6億1,412万円	7億1,469万円	▲14.1
水道事業会計			
収益的支出	6億7,296万円	6億6,999万円	0.4
資本的支出	2億9,824万円	7億6,382万円	▲61.0
合計	203億7,825万円	232億2,893万円	▲12.3

平成24年度幸田町一般会計

歳入歳出予算総額 132億1,000万円



歳出

歳出を費目別に見ると、民生費が全体の29.6%を占め、次いで教育費12.9%、総務費12.4%となっています。総務費は相見駅が開業したことにより、前年度に比べ22億9千万円減（58.4%減）と大幅に減少し、土木費では新駅周辺整備などで3億6千万円減（19.5%減）、農林水産業費ではかんがい排水の負担金などで3億5千万円増（72.2%増）などにより前年度と比べ、全体では22億1千万円減の予算額となりました。

歳入

最も大きな割合を占めている町税は回復の兆しが見えず、ほぼ前年度並みの70億2千万円（構成比53.1%）で、リーマンショック前と比較して20億円減少しています。そのため、財源不足を埋めるため基金繰入金21億2千万円（構成比16.0%）の取り崩しを予定しています。また、子ども手当負担金や社会資本整備総合交付金などの大幅な減少により国庫支出金が、前年度に比べ9億2千万円減（47.3%減）となりました。

主な区分の内容

【歳入】1年間のすべての収入

【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源

【繰入金】積立してある基金（貯金）の取り崩しまたは、特別会計から繰り入れるお金

【国庫（県）支出金】特定の事業の財源の一部として、国（県）から支出されるお金

【町債】大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

【地方譲与税】国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税

【歳出】1年間のすべての支出

【民生費】お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金（子ども手当など）

【教育費】小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金

【総務費】町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金
【公債費】町債を返済するお金

主な事業

●は新規事業

①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

町民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

●防災・減災対策

- ・新防災行政無線デジタル化
- ・新災害時相互応援協定締結
- ・民間木造住宅耐震診断、耐震改修支援
- ・自主防災会育成
- ・自主防災会可搬動力ポンプ更新



▲旧防災行政無線

●消防・救急

- ・新消防操法大会参加
- ・新携帯・IP電話位置情報通知システム導入

●交通・防犯

- ・新コミュニティバス4路線
- ・電動アシスト自転車購入支援
- ・防犯カメラ設置
- ・LED防犯灯設置
- ・地域安全ステーション運営
- ・自主防犯活動支援
- ・通学路グリーンベルト整備



▲新コミュニティバス（えこたんバス）

●道路・橋梁整備

- ・坂崎野場1号線、野場横落線他道路整備
- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・道路区画線補修

●基盤整備

- ・相見駅周辺道路整備
- ・幸田駅前地区土地区画整理推進
- ・区画整理新規地区（岩堀・六栗・里）組合設立

●下水道（公共下水・集落排水）

- ・新規接続に伴う整備推進
- ・矢作川流域下水道建設負担
- ・農業集落排水事業13地区維持管理

●上水道

- ・新永野ポンプ場更新設計
- ・ライフライン機能強化

②環境と調和する まちづくり

自然との共生を図り、緑豊かで環境にやさしいまちづくりを推進します。

●環境対策

- ・新新エネルギーシステム設置支援（住宅用太陽光発電システム・家庭用燃料電池システム）
- ・生ごみ処理容器等設置支援
- ・自然観察会・環境学習会開催

●都市公園整備

- ・新彦左公園バリアフリー化整備
- ・公園遊具・施設整備補修

③多様な産業が育つ まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興に努めます。

●農村・農林業振興

- ・農林業活性化支援
- ・農林業活性化支援
- ・林道整備
- ・里山林等整備
- ・農地・水・保全管理

町民一人当たりの予算の使い道（一般会計）

34万4,181円

（前年度金額 40万6,549円）

* 予算額を平成24年3月1日現在の幸田町の人口3万8,381人で割って算出しました（1円未満四捨五入）

1	民生費	10万2,024円	（ 4.6% 減 ↓ ）
2	教育費	4万4,353円	（ 5.5% 増 ↑ ）
3	総務費	4万2,607円	（ 58.9% 減 ↓ ）
4	土木費	3万8,324円	（ 20.4% 減 ↓ ）
5	公債費	3万2,418円	（ 1.9% 増 ↑ ）
6	衛生費	3万 650円	（ 6.3% 増 ↑ ）
7	消防費	2万1,517円	（ 15.6% 増 ↑ ）
8	農林水産業費	2万1,435円	（ 70.2% 増 ↑ ）
9	議会費	3,958円	（ 12.1% 減 ↓ ）
10	商工費	3,879円	（ 4.5% 減 ↓ ）
11	労働費	1,756円	（ 59.0% 減 ↓ ）
12	そのほか	1,260円	（ 12.8% 増 ↑ ）
	合計	34万4,181円	（ 15.3% 減 ↓ ）

- ・産業まつり
- ・鳥獣害対策電気柵等補助

● 商工・観光・勤労者対策

- ・商工観光業活性化支援
- ・雇用対策
- ・商工業経営安定対策の推進
- ・住宅資金利子補給
- ・彦左まつり
- ・しだれ桜まつり

④ 健康・福祉のまちづくり

町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいを持って暮らしていける地域社会を形成していきます。

● 健康づくり

- ・人間ドック・住民健診
- ・各種がん検診（無料クーポン事業）推進
- ・妊婦健康診査（14回公費負担）
- ・乳幼児健康相談・各種教室開催
- ・こんにちは赤ちゃん訪問
- ・各種健康づくり団体育成・活動支援
- ・各種予防接種（子宮頸がん等ワクチン接種）

● 高齢者、障害者福祉・介護保険

- ・在宅介護手当
- ・障害者自立支援の推進
- ・日常生活用具、補装具給付
- ・介護予防対策の推進

● 児童福祉・保育園整備

- ・新土曜日終日保育・休日保育実施

- ・新わしだ保育園増築・改修設計委託
- ・新私立幼稚園入園料補助
- ・子ども医療費無料化継続（中学校卒業まで）

⑤ 地域文化・人づくり

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めるとともに、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。

● 社会教育

- ・生涯学習講座
- ・本光寺文化財調査
- ・青少年健全育成
- ・成人式
- ・夏まつり、凧揚げまつり

● スポーツ振興

- ・スポーツ教室開催
- ・町民スポーツ大会開催
- ・地区スポーツ大会支援
- ・町民大運動会開催
- ・新春駅伝・ファミリースヨギング大会開催

● 学校教育

- ・新各小学校普通教室扇風機設置
- ・新豊坂小学校大規模改造工事
- ・新幸田中学校大規模改造工事実施設計
- ・新学級補助嘱託教員配置

- ・新理科支援員設置

- ・少人数、通級指導対応教育の推進
- ・日本語指導嘱託教員、母国語対応支援員配置
- ・外国人英語講師配置
- ・奨学金制度
- ・教育相談活動の充実

● 国際化推進

- ・海外派遣交流校受人
- ・中学生海外派遣
- ・国際交流事業補助

● コミュニティ

- ・地区集会施設維持管理
- ・コミュニティ活動支援

⑥ 健全な行財政による 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点に立ち健全性を重視した、バランスの取れた行財政運営の確立に努めます。

● 企業誘致

- ・新企業立地課の新設
- ・新青少年少女発明クラブ

● 広報・広聴推進

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

● 指定管理者制度

- ・町民会館、図書館、町民プール
- ・高齢者生きがいセンターおよび高齢者ふれあいプラザ

- ・道の駅「筆柿の里・幸田」

● 行財政運営

- ・事業仕分け（第2弾）
- ・行政改革大綱に基づく事務改善の推進
- ・公債費の抑制
- ・借地解消（用地購入）

本町の行財政運営は、税収の回復が見込めず大変厳しい状況下にあります。健全財政を維持しながら、町民の皆さんが満足できる、バランスの取れた行政サービスを目指し、事業仕分けなどで事務事業の見直しをするなど、行財政改革を行い、未来を見据えた施策を推進していきます。

諸施策の実施にあたりましては、町民の皆さんとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、「開かれたわかりやすい行政」を展開していきます。

問合せ 財政課財政G（内線3332）

